

四種混合（百日せき・ジフテリア・破傷風・不活化ポリオ）

ワクチン予防接種を受けるにあたっての説明

● 百日せきとは

百日せき菌の飛沫感染でおこります。かぜのような症状で始まり、せきがひどくなり、顔をまっ赤にして連続的にせき込むようになります。せきで呼吸ができず、けいれんがおこることがあります。肺炎や脳症などの重い合併症がおおくと命を落とすこともあります。

● ジフテリアとは

ジフテリア菌の飛沫感染でおこります。感染は主にごのどで、鼻にも感染します。症状は高熱、ごのどの痛み、犬吠様のせき、嘔吐などで、偽膜と呼ばれる膜ができて窒息死することもあります。また、心筋障がいや神経麻痺をおこすことがありますので、注意が必要です。

● 破傷風とは

ヒトからヒトへ感染するのではなく、土の中にいる破傷風菌が傷口から体内に入って感染します。口が開かなくなるなどの症状から、やがて全身のけいれんをおこすようになり、治療が遅れると死に至ることもある病気です。

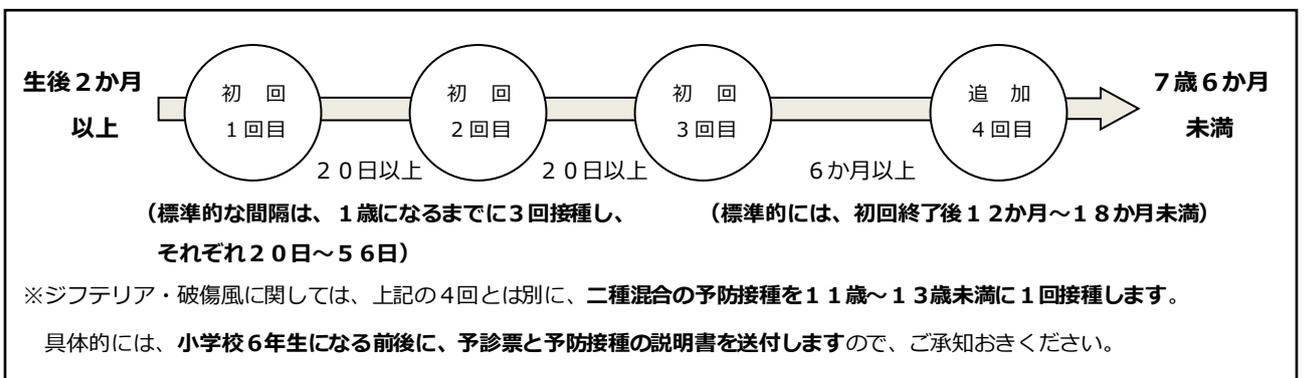
● ポリオとは

ポリオ（急性灰白髄炎）は「小児まひ」と呼ばれ、日本では1960年代前半までは流行を繰り返していました。ポリオウイルスに感染しても、ほとんどの場合は症状が出ず、知らない間に免疫ができます。しかし、症状が出る場合、ウイルスが血液を介して脳・脊髄へ感染が広まり、マヒをおこすことがあります。一部の人には永久にマヒが残り、マヒ症状が進行し、呼吸困難により死亡することもあります。

● 対象年齢：生後2か月～7歳6か月未満

（標準的な初回接種（1～3回目）の完了は、生後2か月～1歳未満）

● 接種スケジュール：計4回



● 主な副反応

注射部位の紅斑（赤くなる）、硬結（しこり）、腫脹（はれ）などの局所反応が主です。なお、硬結（しこり）は少しずつ小さくなりますが、数か月残ることがあります。

まれにおこる重大な副反応としては、ショック、アナフィラキシー、血小板減少性紫斑病、脳症、けいれん等がみられます。